

一般会計歳出は 212億2,963万円

当町は健全な財政状況です

(令和元年度決算による)

令和元年度 一般会計・特別会計

決算

○大槌町復興整備事業

38億1,257万円

震災復興土地区画整理事業、防災集団移転促進事業、津波復興拠点整備事業、漁業集落防災機能強化事業、道路事業、下水道事業等の復興整備事業および上水道災害復旧事業等インフラ整備を一体的に実施しました。

○社会資本総合交付金事業（復興枠）

5億5,005万円

新大槌橋および新おつちトンネルの整備を行いました。

○赤浜地区復興まちづくり支援施設整備事業

4億7,568万円

中央公民館赤浜分館整備に合わせて避難施設として活用できる赤浜地区復興まちづくり支援施設を整備しました。

○大槌町被災者独自支援事業

3億9,747万円

被災者の住宅新築または購入に対して230万円（実績49件）、引越補助金上限10万円（実績1件）、利子補給補助金上限（実績2件）、町産木材使用補助金上限30万円（実績5件）などを町独自で補助しました。

○町道交付金事業

2億9,421万円

復興事業により整備された新たな団地などに行くために必要となった道路を新たに整備する事業を行いました。

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して、早期健全化を促すために平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。この法律により、健全化判断比率として4つの指標（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債比率 ④将来負担比率）と公営企業の経営状況を示す資金不足比率をお知らせします。

【健全化判断比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	12.2%	25.00%	35.00%
将来負担率	—	350.0%	—

※将来負担比率は、将来財政を圧迫する可能性を示すもので低いほど良好なものです。

各合計で赤字はありません

【公営企業の資金不足比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
簡易水道事業特別会計	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	20.00%
漁業集落排水処理事業特別会計	—	20.00%

公営企業においては、資金不足はありません

財政の健全度を判断する指標 4つの指標で判断します

▶実質赤字比率

地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

▶連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。

▶実質公債費比率

借金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

▶将来負担比率

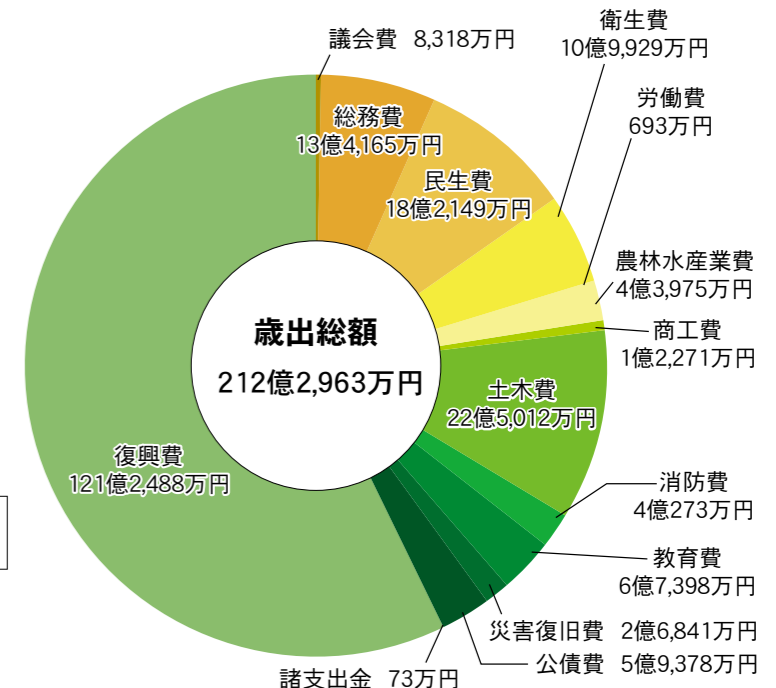
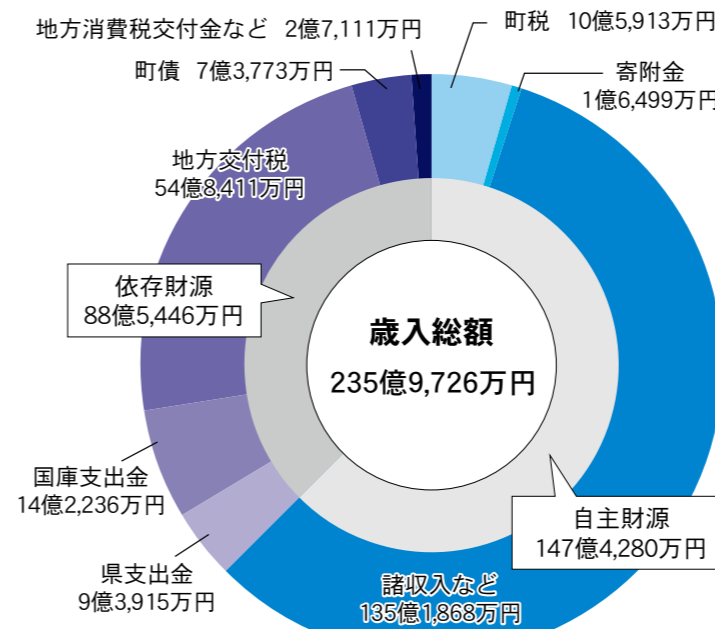
地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

公営企業は次の指標で判断します。

▶資金不足率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

☎ 企画財政課 財政管財班 Tel 0193-42-8712



一般会計の内訳

【町税の内訳】

区分	決算額	構成比
町民税	5億893万円	48.1%
固定資産税	3億7,637万円	35.5%
町たばこ税	1億3,761万円	13.0%
軽自動車税	3,594万円	3.4%
鉱山税	28万円	0.0%
合計	10億5,913万円	100%

【特別会計】

歳入	会計名	歳出
18億6,160万円	国民健康保険	17億1,780万円
13億9,573万円	下水道事業	13億1,030万円
6億258万円	漁業集落排水処理事業	5億4,572万円
15億3,743万円	介護保険	14億9,307万円
1億2,751万円	後期高齢医療	1億2,652万円
55億2,485万円	合計	51億9,341万円

【歳出の性質別内訳】

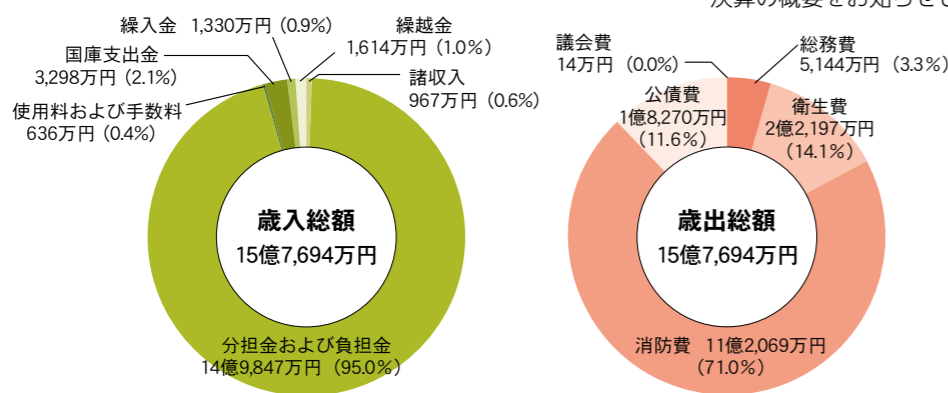
区分	決算額	構成比
普通建設事業	81億1,752万円	38.2%
災害復旧費	5億5,748万円	2.6%
積立金	13億8,632万円	6.5%
補助費など	59億2,593万円	27.9%
物件費	16億6,870万円	7.9%
人件費	10億1,085万円	4.8%
繰出金	11億1,022万円	5.2%
扶助費	7億7,987万円	3.7%
公債費	5億9,378万円	2.8%
その他	7,896万円	0.4%
合計	212億2,963万円	100%

9月定例会で、令和元年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。一般会計については、歳入（収入）が235億9,726万円（前年度比104億6,998万円減）、歳出（支出）が212億2,963万円（前年度比106億9,485万円減）となりました。歳入のうち、町税や使用料など、町が独自に確保できる自主財源は147億4,280万円、全体に占める割合の62.5%でした。また、東日本大震災復興交付金基金積立金から、令和元年度の復興交付金事業の進捗に合わせて繰り入れた、83億4,092万円および繰越金21億4,275万円が歳

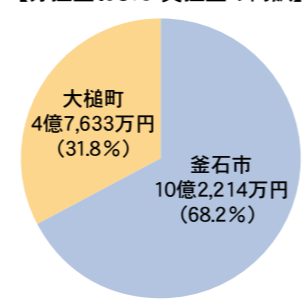
入全体の44.4%となっています。一方、地方交付税や国・県補助金などの依存財源は88億5,446万円、このうち国庫支出金が歳入全体の6%を占めています。また、地方交付税が23.2%、県支出金が4%となっており、全体の37.5%を国・県に依存している状況です。歳出の目的別では、復興費が121億2,488万円、歳出の57.1%を占めており、大槌町復興整備事業38億1,257万円などが含まれており、今後も限られた財源を効率よく活用し、復興に取り組んでまいります。

令和元年度 釜石大槌地区行政事務組合会計 決算のあらまし

釜石大槌地区行政事務組合は、釜石市と大槌町からの分担金などによって、共同で消防業務や、し尿処理事業を行っています。10月26日に開催した同組合議会定例会で認定された令和元年度決算の概要をお知らせします。



【分担金および負担金の内訳】



令和元年度 行政事務組合の 主な事業

【消防業務】

	火災件数	前年度比較	救急件数	前年度比較
釜石消防署	8	△1	1,482	38
大槌消防署	3	0	827	6
合計	11	△1	2,309	44

【し尿処理事業】

	搬入量 (kl)	構成比率 (%)	前年度比 (%)
釜石市	1万4,764	56.9	△2.8
大槌町	1万1,188	43.1	△8.2
合計	2万5,952	100.0	△5.2

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります ※△はマイナス

◎令和元年度開示請求等の状況について

令和元年度において、釜石大槌地区行政事務組合情報公開条例に基づく開示請求および審査請求は、開示請求2件に対し開示2件、審査請求はありませんでした。釜石大槌地区行政事務組合個人情報保護条例に基づく、開示請求および審査請求はありませんでした。

☎ 釜石大槌地区行政事務組合 事務局 総務課 Tel 0193-31-1336